

## 平成31年度予算額 30.4億円（新規）

### 事業の内容

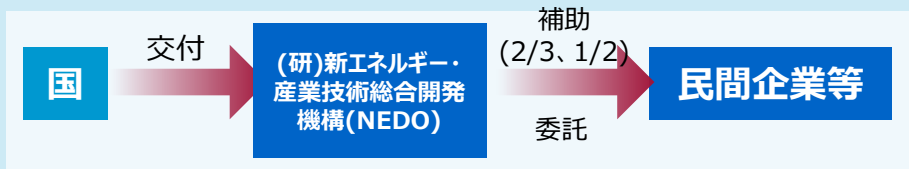
#### 事業目的・概要

- データを巡るグローバル競争の主戦場は、バーチャルデータからリアルデータを活用したビジネスに移行しています。ここで日本の強みである現場の良質なデータを活かし、データを介して機械、技術、人などが繋がることで、新たな付加価値創出と社会課題解決を目指す「Connected Industries」の実現が重要です。
- 本事業では、数多くの事業者がデータを共有・共用し協調領域を拡大させ、そのデータをAI等の先端技術を用いて利活用し新たなサービスを開発すること、及びそうした開発が持続的に行われる環境を構築することを目指します。
- 具体的には、事業者間のデータ共有プラットフォームの本格整備を支援することで協調領域拡大を促進すると同時に、そのデータ等からSaaSとして提供可能で、かつ国際競争力のあるAIシステムの開発を支援します。加えて、データ利活用環境の設計図となるアーキテクチャ設計を実施します。

#### 成果目標

- 平成33年度までに、Connected Industriesの重点5分野で、それぞれ2以上のSaaSとして提供可能で、かつ国際競争力のあるAIシステムの開発に向けた取組がなされることを目指します。

#### 条件（対象者、対象行為、補助率等）



### 事業イメージ

#### データ共有プラットフォーム構築事業

- Connected Industries重点5分野の協調領域拡大に向けたデータ共有プラットフォーム構築及びグローバルな連携を見据えたプラットフォーム間連携

#### AIシステム開発支援事業

- 業界内又は業界横断的にSaaS（Software as a Service）として提供可能で、かつ国際競争力のあるAIシステムの開発（AIベンチャーを含む多様なユーザーの参画）



共用されるデータの拡大によって高度なAIサービス開発が可能となり、それが更なる協調領域の拡大につながる「AI・データの好循環」の実現

